

幼稚園（年長）

しぜん大好き！

番組名 「しぜんとあそぼ」

第31回 さけ

実践者 旭川宝田学園わかば幼稚園

土井 沙織

自然の身近な面から普段なかなか目にするのでできない部分まで、美しい映像でじっくりと見ることのできる番組です。

番組の使い方

活用のねらい

視聴を通して自然への関心が高まり、様々な気付きや活動への意欲が刺激される。

1年間継続視聴して友達と共感し合うことや意見を出し合う経験を重ね、子ども同士で話し合う力を育てる。

具体的な手立て

《番組視聴→視聴後の意見交流→事後活動》の流れで1年間継続して同じ番組を視聴する。

番組視聴で一人一人が感じたことをもとに活動を展開する。

保育の流れ

番組視聴（15分）

- ・視聴環境を整え、集中したところで番組名を伝え視聴する
- ・教師も一緒に番組を楽しむ
- ・視聴中のつぶやきや表情に着目する。

意見交流（10～15分）

番組を見ての感想や気付いたこと、疑問に思ったことなどを出し合う。

事後活動（20～30分）

- ・図鑑、パソコン等で調べる。
- ・番組で見たものを作る。（画用紙・廃材・粘土など）
- ・気付いたことや発見したことを絵や文字で表現する。
- ・番組で見たものになりきって遊ぶ。

生き生きと学ぶ子どもの姿

様々な感想・疑問が出た

- ・サケのお父さんとお母さんはもういないんだね。（産卵後サケが死んでしまうことに対する衝撃）
- ・サケは川にいるの？海にいるの？行ったり来たりしてるの？
- ・孵化の瞬間への感動
- ・始業式で聞いた園長先生のさけの話の意味が分かった。（仔魚のおなかの栄養の話）

疑問に思ったことを自ら調べる。

- ・どうして生まれた川がわかるの？→川のおいでわかる→じゃあどうして場所までわかるの？石ばかりで同じ景色なのに…（新たな疑問）
- ・卵は何個生まれるの？→30～100個と予想→実際は数千個→驚きに

多様な事後活動

それぞれが疑問に思ったことを調べる、実際に観察する、さけの世界を作る（画用紙、廃材、粘土などで）絵を描く、など。

指導を終えて

《保護者アンケートより》

番組を見て「さけ」について知ったことを保護者に伝えた子が多くいた。また、子ども自ら保護者に話した子ほかの学年よりも多かった。

保護者も番組視聴の保育について肯定的にとらえている。

番組の細かいところも出しっかり見ていることがわかる感想や疑問が多く出ていた。自分から「このことについて調べたい」という声も多く出ていた。

